

三重県

伊賀市企業版ふるさと納税

2025年度版



古くから忍びの里として独自の文化を築いてきた伊賀の里。
そこに息づく技術と精神は代々秘伝として、
変わらずに受け継がれてきました。
忍びのこころ息づく里、伊賀市を応援してください。

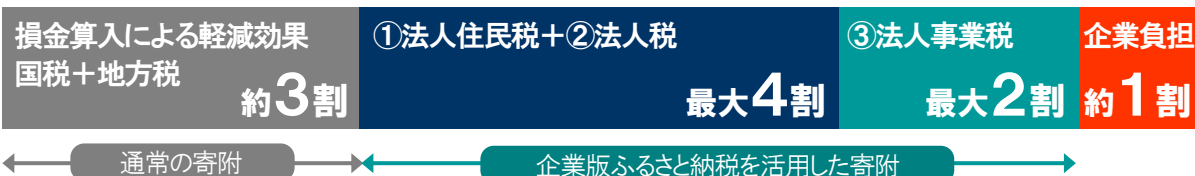


伊賀市 企業版ふるさと納税



最大、寄附額の約9割が税制上で優遇措置

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。



- ①法人住民税…寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税…法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税…寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

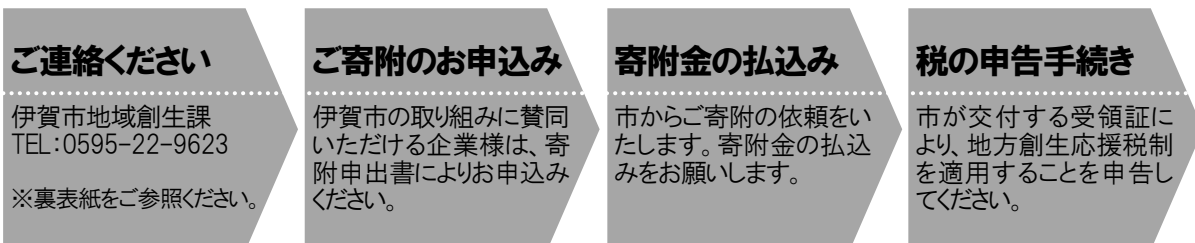
※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

企業様の地域貢献への取り組みのPRに 伊賀市とのパートナーシップのきっかけに



企業版ふるさと
納税のメリット

ご寄附の流れ



【ご確認ください】

- 1回あたり10万円以上の寄附が制度の対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- 伊賀市内に本社(主たる事務所または事業所)がある場合は制度の対象となりません。

4つの基本目標

1 誰もが希望をもって 働くことができる まちにする

■キーワード

- 地域の魅力のブランド化
- イノベーションの創出
- 地域資源を活かした地域産業の強化
- 就業・起業支援
- 人材の確保・育成

■主な基本事業

- 観光誘客と情報発信
- 農畜産物の生産振興
- 商工業の活性化
- 企業立地
- 就労支援、職業相談
- 創業支援

2 安心して 子どもを産み、育てる ことができるまちにする

■キーワード

- 結婚・妊娠・出産・子育てまでの
切れ目のない支援
- ワーク・ライフ・バランス

■主な基本事業

- 子育て相談
- 子育て支援
- 少子化対策
- 男女共同参画

3 心豊かに 暮らし続けることが できるまちにする

■キーワード

- 市民主体によるまちづくり
- 地域防災の確保
- 魅力的な地方都市生活圏の形成
- 医療・福祉サービス等の機能確保
- 地域間連携による魅力的な地域圏の形成
- 文化・スポーツ振興によるまちづくり

■主な基本事業

- 住民自治
- コンパクトシティ・プラス・ネットワーク
- 包括的な相談支援
- 定住自立圏
- 多文化交流
- 文化・芸術振興
- スポーツ振興

4 魅力を高め、にぎわいと 交流を生み出すことが できるまちにする

■キーワード

- 官民連携による賑わいの拠点づくり
- 交流・関係人口の創出・拡大
- 移住の促進
- 産学官民連携
- 地域人材の育成

■主な基本事業

- 市街地整備
- 中心市街地の商業の活性化
- 魅力発信
- 移住・交流
- 地域人材育成

2025年度 主な寄附 募集事業

1 誰もが希望をもって 働くことができるまちにする

キーワード: ○地域の魅力のブランド化 ○イノベーションの創出 ○地域資源を活かした地域産業の強化 ○就業・起業支援 ○人材の確保・育成

主な基本事業: ○観光誘客と情報発信 ○農畜産物の生産振興 ○商工業の活性化 ○企業立地 ○就労支援、職業相談 ○創業支援

101 起業促進プロジェクト

伊賀市内での創業を応援します！

四方を山に囲まれた伊賀市には、歴史を感じる城下町、自然あふれる場所など、他のエリアにはない魅力的な場所があることから、起業者が近年増加傾向にあります。起業家への支援を行うことにより、伊賀市のにぎわい創出につなげ、魅力的なまちをつくれます。



102 持続可能な農業再生プロジェクト

持続可能な地域農業の維持・発展を目指す取り組みとして、菜の花プロジェクトでは地域資源を活用した循環型農業の実現を目指し、集落営農支援事業ではスマート農業機械等の導入を補助、伊賀牛の生産増頭や安定供給を図る畜産振興事業も行っています。また、有害鳥獣駆除事業ではシカやイノシシの個体数増加に対応し、地域の生態系や農作物被害を防いでいます。



2025年度 主な寄附 募集事業

2 安心して子どもを産み、 育てることができるまちにする

キーワード: ○結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援 ○ワーク・ライフ・バランス
主な基本事業: ○子育て相談 ○子育て支援 ○少子化対策 ○男女共同参画

201 都市公園げんきプロジェクト

都市公園は都市環境保全機能のほか、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のレクリエーション活動、健康運動等の活動拠点となっています。

都市公園の安全・安心な環境を維持していくため「都市公園げんきプロジェクト」として公園内施設(遊具・トイレ・休憩施設・照明等)の予防保全・老朽化対策等に取り組みます。



202 妊活応援!!こうのとりのプロジェクト ～不妊治療を応援します～

不妊治療を受ける方の“子どもを授かりたい”という思いに寄り添う支援です。

一般的な不妊治療は保険適用となっていますが、治療が長期にわたるなどして医療費が高額になっていくケースがあります。子どもを望む方に、必要な治療をあきらめることなく続けていただくため、自己負担分などを助成します。



203 わくわくドキドキがとまらないPart2！保育所・幼稚園プロジェクト

老朽化が進んだ遊具を撤去し、すべての子どもたちが安心して一緒に遊ぶことができるインクルーシブ遊具を導入します。また、保育方針に掲げている「はだしで元気に過ごす環境を作る」ために園庭整備を実施し、園庭を広々と効果的に利用します。

すべての子どもたちがのびのびと安全安心に遊ぶことができる環境を整え心身の発達を促していきます。



204 使用済み紙おむつ持ち帰りゼロプロジェクト

これまで市内の保育所、認定こども園で使用した使用済み紙おむつは原則家庭に持ち帰り処分していました。

令和6年4月より使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、市内の保育所、認定こども園の使用済み紙おむつを回収、処分することで、保護者、保育士の負担軽減を図ります。



205 こどもの健康なからだを育むための給食プロジェクト

健康で健やかなからだを育むため、バランスの取れた給食の提供、食材や栄養に関する食育を市立学校、市内の保育所、幼稚園、認定こども園で進めています。「スマイル給食」や伊賀米を使用するなど、食を通したふるさとの学びにも取り組んでいます。

健康なからだを育む重要な時期に、食育の充実や保護者の経済的負担軽減を図ることから給食費・副食費の無償化を行っています。



206 多様な学びを保障する不登校支援プロジェクト

不登校児童生徒が増加する中、不登校児童生徒の社会的自立に向けて多様な学びを保障していく必要があります。公的な機関として、伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)の充実やモデル校を指定し校内教育支援センターの設置に取り組んでいます。

三重県立みえ四葉ヶ咲中学校や民間フリースクール等との連携を進めるとともに、そこに通う児童生徒の保護者負担の軽減を図っています。



2025年度 主な寄附 募集事業

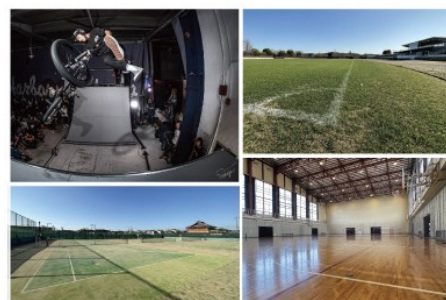
3 心豊かに暮らし続ける ことができるまちにする

キーワード:○市民主体によるまちづくり ○地域防災の確保 ○魅力的な地方都市生活圏の形成 ○医療・福祉サービス等の機能確保 ○地域間連携による魅力的な地域圏の形成 ○文化・スポーツ振興によるまちづくり

主な基本事業:○住民自治 ○コンパクトシティ・プラス・ネットワーク ○包括的な相談支援 ○定住自立圏 ○多文化交流 ○文化・芸術振興 ○スポーツ振興

301 安全で快適なスポーツ施設改修プロジェクト

伊賀市スポーツ推進計画では「すべての市民が生活の中でスポーツに親しみ 健康で豊かに暮らせるまち 伊賀市」を基本理念としており、生涯を通じて切れ目なく気軽にスポーツを実施できる体系的な環境づくりを目指しています。スポーツ人口の拡大、スポーツ活動の普及啓発を快適に行えるよう、現状のスポーツ施設に加え新しいスポーツの普及環境の体制整備・施設最適化を実施します。



302 「不易流行」が育む、文化振興プロジェクト

芭蕉翁の顕彰とともに、伊賀市の歴史や文化芸術に触れることができる施設の建設を進めます。市が所蔵する芭蕉翁をはじめとする歴史文化に関連する資料などを適切に保存管理するとともに、市民、特に子どもたちが「ホンモノ」に触れることで豊かな感性や心を育むことができる施設となるよう検討を進めます。



永年画 芭蕉像
伊賀市蔵

303 忍者列車でござる！伊賀線応援プロジェクト

近鉄大阪線とJR関西本線を結び、城下町や田園地帯を駆け抜ける伊賀線は、学生の通学や市民生活、そして観光などの来訪者の移動手段に欠くことのできない存在です。伊賀線は、地域の活性化やゼロカーボンシティに寄与するほか、名物忍者列車は地域外からの来訪者を呼び込む観光資源としての役割も担っています。



©松本零士/零時社

304 ピロリゼロ・スクールプロジェクト

ピロリ菌は主に5歳ぐらいいまでにピロリ菌に感染している家族等から経口感染します。ピロリ菌の感染が長期間続くと菌慢性胃炎が進行し、胃がんのリスクを高めるとされています。中学3年生を対象にピロリ菌検査を実施し、早期発見・早期治療により胃潰瘍や胃がん等を予防するとともに、次世代への感染予防に繋がります。



2025年度
主な寄附
募集事業

4 魅力を高め、にぎわいと交流を 生み出すことができるまちにする

キーワード:○官民連携による賑わいの拠点づくり ○交流・関係人口の創出・拡大 ○移住の促進 ○産学官民連携 ○地域人材の育成

主な基本事業:○市街地整備 ○中心市街地の商業の活性化 ○魅力発信 ○移住・交流 ○地域人材育成

401 若者定住のための奨学金等返還金支援プロジェクト

伊賀市の将来を担う若者の市外流出の抑制と、市外の若者の市内流入・Uターン等の促進を図るため、奨学金等の貸与を受けて修学した人が、市内に定住及び企業等にて就労し、奨学金等を返還する場合にその返還額の一部を支援します。



402 IGABITO(若者)育成支援プロジェクト

自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識・実行力を持った若者(=IGABITO)の育成に取り組んでいます。市内の県立・私立高校等が行うIGABITO育成の取り組み支援、地域を良くするために自ら考え、実行するIGABITOで構成する「伊賀市若者会議」の活動支援を行います。





**伊賀市の取り組みにご関心がございましたら、
ぜひ、ご連絡ください。**

〒518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地

伊賀市 地域力創造部 地域創生課

TEL:0595-22-9623 FAX:0595-22-9672

E-mail: chisou@city.iga.lg.jp

URL: <https://www.city.iga.lg.jp> 募集しているプロジェクト(伊賀市ウェブサイト)▶

